



～もう一人の自分たち～

校長 熊本 寿美

ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成 (文責：教頭 土器 修)

8月の大雨では、宇美町でも避難指示が出され、ひばりが丘では土砂災害が発生しました。本校武道場でも避難場所が開設されました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

8月20日(金)からは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る緊急事態宣言が発令されました。このような中、8月27日(金)の2学期始業式に、元気に登校する南中生の姿を見て、職員一同、安心しました。ご家庭での細やかなご支援に心より感謝申し上げます。2学期も子どもたちの安全確保に向けて感染症対策を講じ、南中生一人一人が、感染拡大防止に向け、「新しい生活様式」に則って学校生活を過ごせるよう指導の徹底に努めてまいります。引き続きご理解、ご支援を賜りますとともに、朝の検温、本人・ご家族に発熱等の風邪症状がある場合に登校を控えていただくこと等にご協力くださいますようお願いいたします。



大掃除(窓磨き)の様子

2学期の始業にあたって ～オンライン始業式の実施～

8月27日(金)に令和3年度2学期始業式を、オンライン形式で実施しました。儀式的行事では初めての試みということもあり、参加する生徒会役員、各学年代表の生徒、表彰される生徒等も緊張した面持ちで臨みました。

校長先生からは、将来の自立に向けて学びを深める2学期の始業にあたり、自己実現に向けた着実な一歩で前進してほしいという成長への願いが伝えられました。

また、各学年の代表生徒からは、2学期にかける思いや目標を堂々と述べられました。オンライン形式でしたが、学年や学校全体で2学期への思いを共有することができました。

1年生代表 1年2組 城谷 茄湖さん

- 当たり前前(前)のことを当たり前前にできる1学年にしていきたい。
- 腰骨を立て、私語をなくし、集中して授業が受けられるよう心がけていきたい。
- ふわふわ言葉を意識して周りの人のことを考えた行動をできるようにしたい。



2年生代表 2年2組 田之上 祐輔さん

- 提出物を徹底して出し続け、予習・復習を怠らずに頑張っていきたい。
- 黙勤掃除を頑張り、みんなが安心して学校生活を送れる環境をつくりたい。
- 新人戦で1勝でも多く勝てるように限られた練習時間にしっかり頑張りたい。



3年生代表 3年2組 里山 真実さん

- 言葉の意味を考え、言葉遣いを意識し、コミュニケーション力を高めたい。
- 高校受験に向けて1日最低2時間は、復習だけでなく予習をやっていきたい。
- 学校行事を通して、社会で必要な協調性を高めたい。



生徒会の2学期にける決意 ～生徒集会の実施～

生徒会代表 3年2組 花田 穂果さん

- ① 南中生徒全員の日々の生活をさらに高めるために、あいさつ四箇条の実施を徹底し、身だしなみを整えていきたい。
- ② 学習成果発表会を南中生徒全員で成功させたい。文化委員と学級の全員が一致団結して真剣に取り組むことで、これまでの伝統を引き継ぎながら、「1人1人が主役になれる」南中史上最高のものをつくりあげましょう。



決意の言葉では、文化委員長の花田 穂果さんが生徒会スローガン「陽向麗～ひまわり～」を達成するために、2学期の取組をさらに充実させ、生徒会役員が自らお手本となること、コロナ禍でも一生懸命取組を考えていくことを力強く表明してくれました。

また、「南中生徒会学力向上プラン」(1委員会1取組)の内容がそれぞれの委員会より提案されました。この取組は、本校の課題である学力の向上に、生徒会が中心となり、生徒自ら取り組むという南中生徒会独自の取組です。生徒会役員のリーダーシップを全委員会、全校生徒が一丸となってフォローし、本校生徒の学力を生徒自らで高めてくれることを期待します。

委員会	取組
学級	授業・生活態度徹底週間、授業と休み時間の過ごし方についてアンケートを行い、結果分析と授業・生活態度改善に向けた啓発を行う。
学習	自学ノートコンクールを行い、内容のよかった自学ノートを掲示・表彰をし、全校生徒の自学ノートと家庭学習の向上を目指す。
環境	黙勤掃除徹底週間、黙勤掃除四箇条についてアンケートを行い、結果分析と黙勤掃除の徹底に向けた啓発を行う。
健康	生活習慣(睡眠・スマホ・朝食)に関するアンケートを行い、結果分析と生活習慣改善に向けた啓発を行う。
文化	聴取態度徹底週間を行い、学級の目標に応じて、聴取態度の向上を目指し、改善点やふり返しを行う。
図書	年間を通して、読書推進取組を行い、多くの本に親しみ、本に触れ合う機会を増やす。

「南中生徒会学力向上プラン」の具体的取組

人間関係形成力の向上に向けて～小中連携CS学習会の実施～

夏季休業中の7月26日（月）、27日（火）に小中CS連携学習会を行いました。これは学習支援ボランティアの南中生が、原田小学校の4～6年の児童の夏季休業中の課題、1学期の復習等を支援する取組です。南中から3年生18名、2年生26名、1年生17名、計61名が学習支援ボランティアとして活動しました。原田小学校の児童にわかりやすく教えようとする南中生の姿に、ボランティア精神の高まりを見ることができました。原田小学校の児童からは、「算数の内容をやさしくわかるまで教えてくれたので本当に良かった。」等のお礼と感想をいただきました。

南中生のふり返りからは、学習支援を通して、人間関係形成力が身に付いただけでなく、小学校時の学習内容を復習することもできたことがわかります。改めて、人と関わる意味や意義を学ぶ貴重な機会となりました。

生徒のふり返り

- 普段は同級生にしか教えないので、接し方、教え方が難しかった。小学生と交流できて良かった。
- 最初は不安でしたが、小学生が一生懸命に取り組む姿を見て、できる限りのことをしようと思った。自分の復習にもなった。
- 教えることの難しさを実感した。小学生がうなずきながら聞いてくれたので嬉しかった。
- 目線を合わせて教えることが難しかったので、次回機会があれば参加してチャレンジしたい。
- 勉強を教えるだけでなく、自分の説明力も身に付いたので良かった。



小中CS連携学習会の様子

2学期に向けた環境整備 ～PTA美化作業、生徒会トイレ掃除ボランティア活動の実施～

7月31日（土）に、PTA美化厚生委員会による美化作業（草取り）が実施されました。この日は、本校職員とともに87名の生徒ボランティアも参加しました。熱中症対策として適宜水分補給をしながら、早朝約1時間の活動でしたが、PTAと生徒ボランティアが協働することで、校地が見違えるほど整理され、美しくなりました。

また、8月20日（金）の离校日に、生徒会によるトイレ掃除ボランティア活動を実施しました。28名の生徒ボランティアが参加して校内のトイレの便器や手洗い場を磨き、夏季休業前よりも美しい状態にしてくれました。

これらの活動により、南中生が2学期を気持ちよく過ごす環境を整えることができました。ご協力いただいたPTA美化厚生委員会の皆さま、生徒ボランティアの皆さん、ありがとうございました。草取りやトイレ掃除に汗を流す南中生の姿は、南中八策が目指す「ボランティア活動に活発に取り組める南中生」そのものでした。



PTA美化作業の様子



手洗い場磨きの様子

夏季休業中の南中生の活躍 ～オンライン表彰式の実施～

◎ 吹奏楽部の筑前地区吹奏楽コンクール銅賞の受賞

7月27日（火）の筑前地区吹奏楽コンクールに本校吹奏楽部が出場しました。3年生を中心に部員全員がまとまり、美しい演奏を会場に響かせ、銅賞を受賞しました。

◎ 中学生読書サポーター養成講座のビブリオバトルでの優勝

8月6日（金）、宇美町立図書館にて宇美町立3中学校の中学生読書サポーターによるビブリオバトル大会が開催され、本校からは小森彩生さん、松尾玲央さん、松永莉希さんが出場しました。それぞれ本の良さを工夫して紹介し、見事、松永莉希さんが優勝に輝きました。

全国学力・学習状況調査（5月27日（木）3学年対象に実施）の結果のご報告

◇ 国語と数学の結果と分析

学力については、国語と数学が実施され、本校の国語は全国平均正答率を上回り、数学は下回る結果となりました。国語の学習指導要領に示された「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域等のうち、「書くこと」の正答率が高く、併せて多くの問題で無解答率も全国と比べ低いことから、本校各教科における書く活動の積み上げ、家庭学習と連携した週末課題の視写の取組等に効果があつたことがうかがえます。数学では無解答率が全国と比べ高い問題が多く、「記述式」の平均正答率が全国と比べ低いことから、授業での対話活動を一層工夫・改善する必要があることがわかりました。

◇ 生徒質問紙の結果と分析

生徒質問紙の結果については、家庭での学習状況に関する事項の結果（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合：単位％）についてお知らせいたします。

質問事項	本校	福岡県	全国
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	59.1	62.2	63.5
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれぐらいの時間、勉強しますか（1時間以上）	65.1	73.2	75.9
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか（2時間以上）	36.3	50.7	53.3
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれぐらいの時間、読書を読みますか（30分以上）	27.3	28.0	28.9

表のとおり、普段1時間以上、土・日曜日に2時間以上の家庭学習を行っている生徒の割合が、全国よりも大きく下回る結果となりました。まずは、家庭学習の時間の確保を家庭と連携して取り組む必要があります。また、数学の「記述式」の正答率が低いことから、記述するために必要なこれまでの基礎的な内容を復習したり、解答に至る手順等を説明・記述したりすることも有効であると考えられます。

校長先生が紹介された JT の広告

桃太郎がなぜ、犬、猿、キジという一見バラバラの三者を仲間にしたのか。そこには、桃太郎の明確な戦略がありそうです。おそらく桃太郎は、チームに多様性を取り入れ、ある種のケミストリーを起こそうとしたのではないのでしょうか。最初
は合わないこともあったかもしれませんが、でも、心を開き、認め合うことができれば、個性の違いは、お互いを高め合うき
っかけになります。違うから視野が広がる。発見がある。成長できる。強くなれる。これからの多様性の時代に、私たちが
学ぶべきことが、そこにはあるような気がします。違うから、人は人を想う。

南中学生会学力向上プラン 具体的な取組	
委員会	取 組
学 級	授業・生活態度徹底週間。授業と休み時間の過ごし方についてアンケートを行い、結果分析と授業・生活態度改善に向けた啓発を行う。
学 習	自学ノートコンクールを行い、内容のよかった自学ノートを掲示・表彰をし、全校生徒の自学ノートと家庭学習の向上を目指す。
環 境	黙読・掃除徹底週間。黙読・掃除の徹底についてアンケートを行い、結果分析と黙読・掃除の徹底に向けた啓発を行う。
健 康	生活習慣（睡眠・スマホ・朝食）に関するアンケートを行い、結果分析と生活習慣改善に向けた啓発を行う。
文 化	聴取態度徹底週間を行い、学級の目標に応じて、聴取態度の向上を目指し、改善点やふり返りを行う。
図 書	年間を通して、読書推進取組を行い、多くの本に親しみ、本に触れ合う機会を増やす。